

令和元年6月

関係各位

全国中学校理科教育研究会
会長 花田英樹
第66回全国中学校理科教育研究会秋田大会
運営委員長 渡邊政志

第66回全国中学校理科教育研究会

第46回東北理科教育研究協議会

第47回秋田県理科教育研究大会

秋田大会

二次(最終)案内

記念講演



秋田大学大学院教育研究科教職実践専攻

林 信太郎 教授

主催

全国中学校理科教育研究会
東北理科教育研究協議会 秋田県理科教育研究会

後援

文部科学省 国立研究開発法人科学技術振興機構
全日本中学校長会 全国小学校理科研究協議会
日本理化学協会 日本生物教育会 日本地学教育学会
秋田県教育委員会 秋田市教育委員会 秋田県教育研究会
秋田県中学校長会 秋田市中学校長会
(公財)齋藤憲三・山崎貞一顕彰会

協賛

(公社)日本理科教育振興協会 (公財)東レ科学振興会
(公財)ソニー教育財団 (公財)日本教育会
(公財)日本教育公務員弘済会秋田支部

《研究主題》 理科の見方・考え方を働かせて資質・能力を育み、豊かな未来を切り拓く理科教育

《大会主題》 自然と人間の調和を目指し、未来を創造する力を育む理科教育

《開催期日》 令和元年 8月8日(木)～8月9日(金)

《開催会場》 ホテルメトロポリタン秋田 アトリオン ALVE (アルヴェ)

第66回全国中学校理科教育研究会秋田大会運営委員会

◇ ご 案 内 ◇

第66回全国中学校理科教育研究会秋田大会を次の要領で開催いたします。

つきましては、ご多忙の折とは存じますが、多数の皆様にご参加いただきたくご案内申し上げます。

なお、各所属長におかれましては、理科教育振興のために関係職員への周知並びに参加につきましてご高配を賜りますよう、併せてお願い申し上げます。

【研究主題】 理科の見方・考え方を働かせて資質・能力を育み、豊かな未来を切り拓く理科教育

【大会主題】 自然と人間の調和を目指し、未来を創造する力を育む理科教育

【大会主題設定にあたって】

現在の社会はいわゆる知識基盤社会であり、情報インフラの整備や技術革新によって、情報化やグローバル化が進み、社会生活には多くの、そして大きな変化がもたらされている。インターネット上では様々なサービスが展開され、社会構造や他者との関わり方にも影響を与えるようになってきている。そのため社会は加速度的に変化しており、将来を予測することは困難である。一方、これまでも社会全体の問題として取り組まれてきた少子高齢化や、大雨による河川の氾濫や地震といった大規模な自然災害など、喫緊の課題も山積している。これらの解決にはこれまでにはなかった未知の問題に対して科学的に探究し、その対策を考え、実行できる人材が必要である。

このような状況を踏まえ、新学習指導要領の中学校理科では、自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察・実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力の育成を目指している。

第66回秋田大会は、新たな研究主題「理科の見方・考え方を働かせて資質・能力を育み、豊かな未来を切り拓く理科教育」のもと、研究実践を進める初年度となる。理科における資質・能力を育んだ子供は、自然の事物・現象に強く興味や関心を持ち、自然と人間の調和を意識するようになることを考える。将来の予測が困難な現代においても、自然の一部である人間は、自然との調和なしに持続可能で豊かな未来を切り拓くことはできないからである。そこで、「自然と人間の調和を目指し、未来を創造する力を育む理科教育」を大会主題とし、4つの日本ジオパークを擁する自然豊かな秋田を会場に、全国中学校理科教育研究会を開催したい。

【開催期日・会場】 令和元年8月8日(木) ～ 8月9日(金)
ホテルメトロポリタン秋田 アトリオン ALVE (アルヴェ)

【日 程】 ホテルメトロポリタン秋田 ■ アトリオン □ アトリオン及び ALVE □

8月8日(木) 大会1日目

8:30 9:00 10:30 11:30 12:00 13:30 14:30 15:30 17:00 18:00 20:00

役員 受付	役員会	理事会	写 真	ブロック会議 一般受付	開会式	文部科学省 講 演	レセプション
----------	-----	-----	--------	----------------	-----	--------------	--------

※ ブロック会議は 13:00～14:00

8月9日(金) 大会2日目

8:30 9:00 12:30 13:30 15:00 15:30

受付	分科会	昼食	記念講演	閉会式
----	-----	----	------	-----

8月10日(土) AM エクスカーション (教育視察)

① 鳥海山・飛島ジオパーク (象潟方面) ② 男鹿半島・大潟ジオパーク (男鹿半島方面)

【講 演】 文部科学省講演 初等中等教育局教育課程課 教科調査官 遠山 一郎 先生
「理科教育で育成を目指す資質・能力について」

記 念 講 演 秋田大学大学院教育研究科教職実践専攻 林 信太郎 教授
地震と火山がつくった史跡名勝天然記念物「象潟」
— キッチン実験でその成り立ちを考える

【分科会主題と発表者一覧】

第1分科会 教育課程	分科会主題 理科の資質・能力を育み、豊かな未来の創り手を育成する教育課程		
	東北 (福島)	小葉 隆士 いわき市立平第一中学校	主体的に言語活動を行う力を育む教育課程の編成 言語活動の有用性を実感する理科の授業
	関東甲信越 (栃木)	河和 秀実 那珂川町立小川中学校	那須烏山ジオパーク構想と学校教育 栃木県立博物館との連携
	東京 (東京)	有沼 賢二 武蔵村山市立第五中学校 河野 晃 板橋区立中台中学校 栞原 允 板橋区立板橋第三中学校 内藤 理恵 世田谷区立尾山台中学校	知識と思考の共有を通し、主体的・対話的で深い学びを実現させる工夫 ～生徒の資質・能力を育成するために～
	近畿 (大阪)	北畑 謙一 高槻市立五領中学校 割石 智也 大阪市立我孫子南中学校	関心・意欲・態度から『学びに向かう力』の育成へ 次期学習指導要領を見据えた振り返りシート、レポート課題の実践と検証
中四国 (愛媛)	沖野 俊也 愛媛大学教育学部附属中学校	科学的根拠に基づき判断する資質・能力の育成 論理的に思考し表現する学び合いを通して	
第2分科会 学習指導	分科会主題 探究の過程を通し、科学的な思考力、判断力、表現力等の育成を図る学習指導		
	近畿 (京都)	三枝 祐行 京都市立凌風小中学校	主体的に観察・実験に取り組み、目的に応じた考察ができる生徒の育成をめざして 自ら仮説を設定する活動を通じて、科学的な見方・考え方を身につける
	北海道 (北海道)	鎌田 康裕 旭川市立神楽中学校	問いの質を高め、科学的な思考力を育てる理科学習 導入場面での事象との出会いを工夫し、問題を見いだす力を育てる授業の展開
	東北 (山形)	小松 良治 長井市立長井北中学校	主体的に表現し、学びを広げ・深める生徒の育成 ～つながり、関わる中での効果的な学び合いを通して～
	中部 (三重)	猪瀬 智也 四日市市立内部中学校	理科の見方・考え方を養う学習指導の工夫 レディネステスト・モデル・協同的な学び
東京 (東京)	高田 太樹 東京学芸大学附属世田谷中学校	簡易型ダニエル電池の開発と実験計画への活用	
第3分科会 観察・実験	分科会主題 理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究する力を育む観察・実験		
	中四国 (香川)	兒島 洋一郎 土庄町立豊島中学校	学びの共同体を生かすことができる観察・実験のあり方
	東北 (宮城)	安岡 忍 富谷市立東向陽台中学校	科学的に探究する力を育む学習指導の一試み 一書く活動と伝え合う活動における「観察・実験フォルダ」の活用を通して～
	北海道 (北海道)	山岡 雅典 釧路市立青陵中学校	他教科との関わりを意識した光の授業 LED光源を使った光の三原色で様々な色をつくり出す体験を取り入れた授業の実践
	九州 (大分)	工藤 洋教 竹田市立緑ヶ丘中学校	「わくわくする活動で、学びが深まる理科教育」 ～「知識構成型ジグソー法」を用いた主体的・対話的な協調学習を通して～
私立・国立 (秋田)	池田 央 秋田大学教育文化学部附属中学校 島田 勝美 秋田大学教育文化学部附属中学校 菊地 智則 秋田大学教育文化学部附属中学校	自らの「問い」を科学的に追究する力を育む指導 ～理科の見方・考え方を働かせ、根拠に基づく話し合いから思考力を深める授業づくり～	
第4分科会 環境教育	分科会主題 自然体験を通し、自然と人間の調和を目指す態度を育む環境教育		
	東京 (東京)	東京都中学校理科教育研究会 環境教育委員会	新学習指導要領に沿った日本の野生動物の教材化 ～日本の野生動物を取り入れやすくする実践的研究～
	近畿 (和歌山)	矢野 充博 和歌山大学教育学部附属中学校	6つの方法で多角的に学ぶ和歌山の地質 VR・デジタルブック・岩石標本・読み物資料・野外観察・アニメーション制作
	中部 (静岡)	渡邊 裕介 三島市立南中学校	環境教育の要素を盛り込んだ理科教育の推進 ～ため池100選「中郷温水池」・世界灌漑遺産「源兵衛川」の環境調査～
	東北 (秋田)	照井 和志 美郷町立美郷中学校 皆方 信悦 美郷町立美郷中学校	地域の自然を取り入れた環境教育の工夫 ～郷土を語る生徒を育成する教育課程の編成を目指して～
関東甲信越 (山梨)	藤原 聡 河口湖南中学校組合立河口湖南中学校	地域の人材や施設を活用した環境教育の実践 ～「地学教材としての富士山」についての学習事例の紹介～	
第5分科会 学習評価	分科会主題 主体的・対話的で深い学びを通し、豊かな未来を切り拓く力を育む学習評価		
	北海道 (北海道)	高橋 直也 札幌市立伏見中学校	自他の学びを自らの学びに機能させ、『未来を創造する力』を育む学習評価 ～学び合いにおける自己評価と相互評価～
	九州 (鹿児島)	上妻 恵美 鹿児島市立伊敷中学校	資質・能力の育成に向けた指導と評価の充実
	私立・国立 (岩手)	佐藤 満幸 岩手県立一関第一高等学校附属中学校	科学的に探究する力を育成するための指導と評価 指導と評価の一体化を意識して
	関東甲信越 (神奈川)	戸村 瑚織留瞳 横浜市立瀬谷中学校	探究の過程を通して、豊かな未来を切り拓く力を育む学習評価の研究 パフォーマンス課題を取り入れた授業実践と評価
東北 (青森)	中山 康人 八戸市立明治中学校	主体性を育む学びの評価の工夫について ～1枚ポートフォリオ(OPP)の活用による形成的評価を通して～	

【大会申込】 大会参加費 5,000円（別途取扱手数料がかかります）
大会HPから申込用サイトにお進みください。（<https://6608.webnode.jp>）

【連絡・問い合わせ先】

第66回全国中学校理科教育研究会秋田大会運営委員会

運営委員長 渡邊 政志（秋田市立秋田南中学校長）

〒010-0014 秋田市南通宮田15-1

TEL：018-833-8467 FAX：018-833-8468

E-mail：watanabe-masashi@edu.city.akita.akita.jp

事務局長 進藤 義明（秋田市立御所野学院中学校教諭）

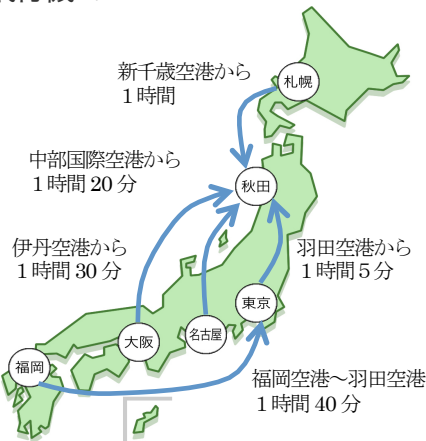
〒010-1413 秋田市御所野地藏田4-1-1

TEL：018-889-8330 FAX：018-826-0200

E-mail：shindou-yoshiaki@edu.city.akita.akita.jp

【秋田への主なアクセス】

＜飛行機で＞



※ 秋田空港～秋田駅西口 リムジンバスで35分

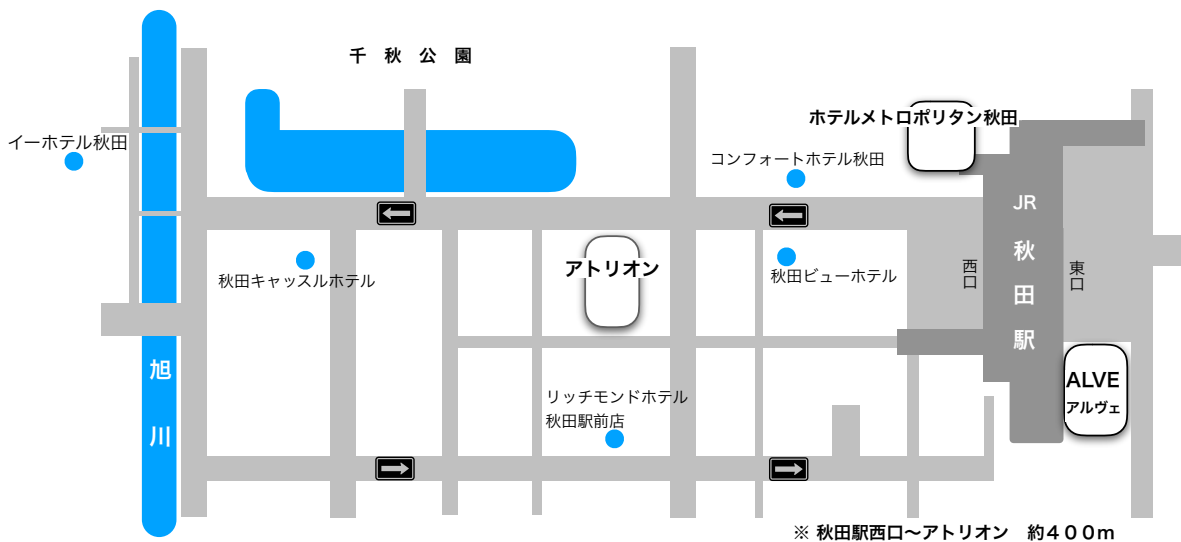
＜鉄道で＞

- ・東京駅 から 最速3時間37分（秋田新幹線）
- ・新大阪駅 から 約7時間（東海道新幹線～秋田新幹線）
- ・新函館北斗駅 から 約4時間30分
- ・名古屋駅 から 約6時間（東海道新幹線～秋田新幹線）
- ・仙台駅 から 最速2時間5分（秋田新幹線）

＜高速バス・フェリー＞

- ・高速バス 東京都内・仙台～
- ・フェリー 苫小牧東港・新潟港・敦賀港（新潟港経由）～

【各会場周辺図】



- ◇ ホテルメトロポリタン秋田 秋田県秋田市中通7-2-1 TEL：018-831-2222
- ◇ アトリオン（秋田総合生活文化会館・美術館） 秋田県秋田市中通2-3-8 TEL：018-836-7803
- ◇ ALVE（秋田拠点センター アルヴェ） 秋田県秋田市東通仲町4-1 TEL：018-836-4290